ATELIER MUJI
GINZA

お知らせ

2019 年 10 月吉日

「考える。益子の新しい伝統に向けて」展

会期｜2019 年 11 月 29 日（金）～ 2020 年 3 月 8 日（日）

©ATELIER MUJI GINZA 2019

ATELIER MUJI GINZA Gallery 1 では、MASHIKO Product との協働による「栗の木プロジェクト」をスタートします。

「栗の木プロジェクト」は、イタリアデザインの巨匠、エンツォ・マーリ（Enzo Mari 1932~）との対話から生まれた取り組みです。「目先の経済を優先するのではなく、栗の木を植えるように長く持続し未来の人々に実りをもたらすこと」を目指した展覧会とイベントを開催しています。

第三弾となる本展のテーマは「考える」。

はじまりは、マーリが 1970 年代にダネーゼ社のため、磁器工房の職人とともに手がけた器のシリーズ＜SAMOS＞でした。その手法とは、作家による工芸的な手仕事でも、工業製品でもない、職人とデザイナーが対等に対話することによってクオリティを生み出す手仕事のあり方でした。私たちは、その哲学から発想を得、独自のワークショップの実験を行なっています。

ワークショップは、日常使いの器として関東圏を中心に親しまれる益子焼の産地を舞台に、現地の作家と、ATELIER MUJI GINZA が構成したデザイナーを含むチーム、計 11 名によって 6 日間にわたり繰り広げられました。本展では、そのプロセスを語る約 150 点以上の試作やツール、さらに＜SAMOS＞2 点が一堂に会します。

今回の展示は、益子焼の新たな伝統に向けた長期プロジェクトのローンチであり、私たちは今後もワークショップを継続し、メソッドを進化させていく予定です。「多くの職人たちは、自動的に手を動かし、考えることなく“伝統”を右から左へと 継承している」というマーリのことばについて、自身の頭で考えることからはじめ、手を使って新たなメソッドと形を模索していきます。

みなさんも一緒に、手仕事の未来、伝統の未来について考えてみませんか？

ATELIER MUJI GINZA

- MASHIKO Product

2018 年に発足した益子町と益子町の民間の作り手が共同でデザイン企画開発を行う制作グループ。益子焼をはじめ町に根付いた様々な手仕事を、デザインの視点から解釈しなおして新たな益子ブランドとして創出していく試みを行っている。また、2019 年には益子焼の新ブランドＢＯＴＥ＆ＳＵＴＴＯを深澤直人氏のデザインディレクションで開発。

【関連イベント】

オープニングイベント・ギャラリートーク

本展オープニングを記念し、益子町の濱田窯 代表 濱田友緒氏、清窯 代表 大塚一弘氏、道祖土(さやど)和田窯 代表 塚本倫行氏をお招きし、「益子焼」の定義とは何か？ また本ワークショップについて、MASHIKO Product の未来のビジョンについて語っていただきます。本ワークショップに参加した作陶家、デザイナーの皆さんとの懇親会もございます。ふるってご参加ください。

日時｜2019 年 11 月 29 日（金）19:00-20:30（受付は 18:30 からとなります）
会場｜無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Lounge
定員｜50 名（要事前申込）
参加費｜無料

※本イベントはスタンディングになります。予めご了承ください。椅子が必要な方はお声がけください。
※メディア関係者の方でご参加いただける場合は info@ateliermuji.jp までご連絡ください。

関連イベントの詳細につきましては、随時公式サイトにてお知らせ致します。
ATELIER MUJI GINZA 公式サイト｜https://www.muji.com/jp/ateliermuji/

【基本情報】

会期｜2019年11月29日（金）～2020年３月8日（日）
時間｜10:00-21:00
※店舗休館の場合は、それに準じます。
※イベント等によって展示品の一部がご覧頂けない日時がございます。
詳細は ATELIER MUJI GINZA 公式ウェブサイトをご覧ください。
会場｜無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery 1 （入場無料）
所在地｜〒 104-0061 東京都中央区銀座 3-3-5 無印良品 銀座 6F

主催｜無印良品
企画協力｜MASHIKO Product
協力｜Studio Enzo mari
空間デザイン｜ya
グラフィックデザイン｜東川裕子
施工｜HIGURE 17-15 cas
展示品協力｜永井敬二
企画・運営｜株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン担当・無印良品 銀座 ATELIER MUJI GINZA

ワークショップ参加者｜
益子町の作陶家 ｜阿部智也、大塚一弘、川島郁朗、濱田友緒
無印良品・IDÉE｜遠藤紗和見、加藤晃、小嶋紗代子、小林真紀、田代かおる、永田貴大、深田新（五十音順）

【リリース 写真資料】
※本リリースに掲載した下記写真を広報掲載用にご用意しております。掲載をご希望の際は下記広報担当までご連絡ください。
ご掲載の際は、作品キャプションおよびクレジットの表記（©ATELIER MUJI GINZA 2019）をお願いいたします。

1.

2.

3.

4.

5.

6.

お問い合わせ
㈱良品計画　生活雑貨部企画デザイン担当 ATELIER MUJI GINZA 担当：遠藤
〒104－0061 東京都中央区銀座３ － ３ －５ 無印良品 銀座 6F
MAIL： info@ateliermuji.jp